

— 日本二百名山 —

(深田クラブ選定 百名山は除く)

北海道

東北

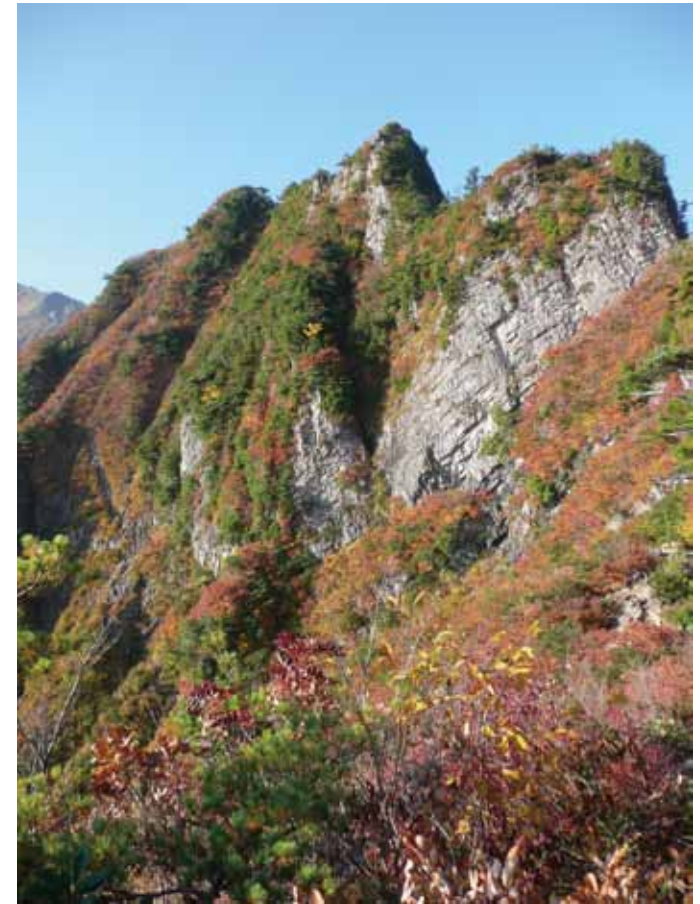
関東

中部

- | | | |
|---------------|----------|---------|
| 1 天塩岳 | 18 森吉山 | 35 岩菅山 |
| 2 石狩岳 | 19 以東岳 | 36 浅間隠山 |
| 3 ニペソツ山 | 20 船形山 | 37 榛名山 |
| 4 カムイエクウチカウシ山 | 21 杵差岳 | 38 妙義山 |
| 5 ペテガリ岳 | 22 二王子岳 | 39 荒船山 |
| 6 芦別岳 | 23 御神楽岳 | 40 御座山 |
| 7 夕張岳 | 24 守門岳 | 41 武甲山 |
| 8 暑寒別岳 | 25 中ノ岳 | 42 和名倉山 |
| 9 樽前山 | 26 八海山 | 43 茅ヶ岳 |
| 10 渡島駒ヶ岳 | 27 荒沢岳 | 44 乾徳山 |
| 11 白神岳 | 28 佐武流山 | 45 大岳山 |
| 12 姫神山 | 29 鳥甲山 | 46 三ツ峠山 |
| 13 秋田駒ヶ岳 | 30 帝釈山 | 47 御正体山 |
| 14 和賀岳 | 31 会津朝日岳 | 48 毛無山 |
| 15 焼石岳 | 32 女峰山 | 49 愛鷹山 |
| 16 栗駒山 | 33 仙ノ倉山 | 50 天狗岳 |
| 17 神室山 | 34 白砂山 | |



八海山から望む中ノ岳



荒沢岳・前嶺の大岩壁



苗場山から望む鳥甲山



エデシ尾根から望む守門岳と大雲沢の岩壁



中沼畔から望む東焼石岳方面



八海山・大日岳



カムイエクウチカウシ山の登山道（高巻き）



チシマヒョウタンボク



カムイエクウチカウシ山・ハノ沢カール



ニペソツ山・前天狗岳から望む石狩連峰



以東岳の稜線から望む朝日連峰



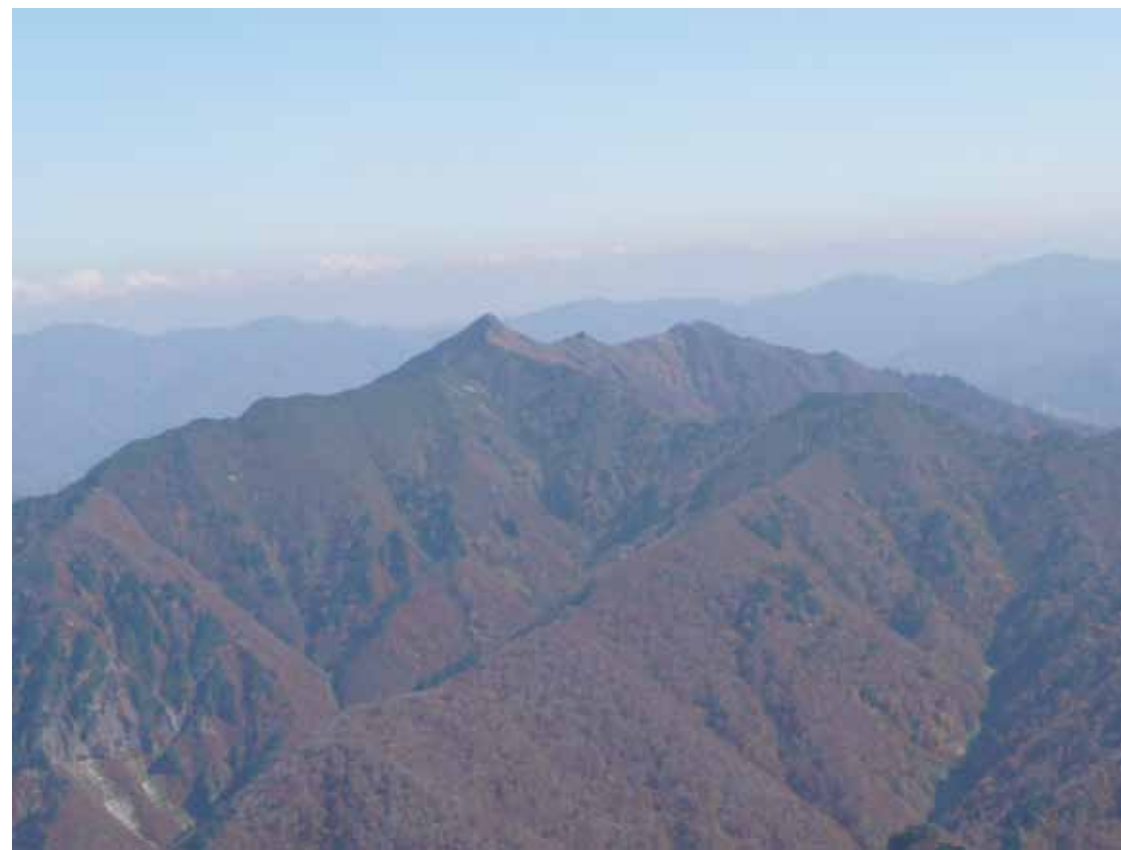
会津朝日岳の頂稜部の景色



イワヒゲ



会津朝日岳の頂から望む周囲の山々



中ノ岳から望む荒沢岳



雨竜沼から望む暑寒別岳



二王子岳・神子石



イワウメ



ヒナザクラ



ヒメサユリ

50 天狗岳

平成 11 年 (1999) 10 月 9 ~ 11 日

山に登り始めておよそ 30 年、初めは主人と地元や近県の山に行くことが多かったが、どうせ登るのなら良い山に登りたいと百名山に、続いて三百名山を目指すようになった。そこでまず北アルプスの足慣らしにと北八ヶ岳に登り、その 2 年後に八ヶ岳の縦走に出かけた。

八ヶ岳連峰は大きく主峰の赤岳を中心に岩峰が連なる南八ヶ岳と原生林が生い茂り池が点在する北八ヶ岳とに分かれ、天狗岳はその北八ヶ岳の最高峰で、東西に 2 つの山を従えている。

八ヶ岳を南から北に縦走するため大阪駅を 21 時の夜行列車『ちくま』で発った。塩尻駅で始発の電車に乗るために他の登山客と 2 時間ばかり時間待ちをし、翌朝 6 時過ぎに茅野駅に着いた。バスが出た直後だったので、駅前では他の人に声をかけ 5 人でタクシーに乗り合わせ、美濃戸口まで入っていく。

今日は雲一つなく空気の澄んだ非常に良いお天気で、昨年に娘と行き稜線には上がれなかった時とは随分違う。

タクシーの運転手さんが「朝、八ヶ岳に雲がかかってなくて、今年一番の天気ですよ」と話す。

そこで御小屋尾根歩きを楽しむことにし、柳川南沢・北沢に入るたくさんの人たちと別れ、美濃戸口から上の別荘地に向かって歩き始めた。このコースは阿弥陀・赤岳へは、柳川南沢に比べあまり所要時間は変わらないようであるが、最後は急峻な登りが待っている。

堅いアスファルトの道の両側に咲く花を見ながら 30 分ほど登ると、6 時 52 分に登山口に着いた。

東天狗岳 標高 2640 m

1 日目 御小屋尾根登山口 — 阿弥陀岳 — 中岳 — 赤岳 — 赤岳頂上山荘 (8 時間 40 分)

2 日目 赤岳頂上山荘 — 横岳 — 硫黄岳 — 根石岳 — 東天狗岳 — 中山峠

— 高見石小屋 (10 時間)

3 日目 高見石小屋 — 丸山 — 麦草峠 (1 時間 10 分)

別荘地を過ぎ「明るいカラマツの生える山にはキノコが生えている」と話す、キノコ採りに来ている人に出会ったのが最後、やがて誰一人とも出会わない薄暗い静かな黒木の林